

## 知と心の拠点を目指して

地域連携センター長 塚原 成幸

今年度から地域連携センターを担当させていただくことになりました。幼児教育科の塚原です。私は、本学に着任して8年目になります。着任してから一貫して、地域連携センター運営委員として地域連携に関わり、地域と本学のより豊かな関係性について構想してきました。

本学は、長野県における唯一のカトリック高等教育機関であり、長野に根差した学術研究、キリスト教精神に基づく全人教育、そして深い知性と道徳的見識を地域社会の文化向上と社会福祉の増進のために役立てることを目的とし、円満な



第21回長野マラソン・ボランティア



公開講座「楽しく見る、現代美術入門」

人材と情操豊かな人材の育成に取り組んでいます。また、2014年には、本学の建学の精神をより親しみやすく地域社会に知っていただくために、本学のメッセージを制定しました。それは、「ここを育てる」という言葉です。一読すると漠然としていてわかりにくいキーワードですが、この言葉こそ、「神の尊前に清く・正しく・愛おかく」という清泉女学院の姉妹校共通のモットーをストレートに表現した言葉だと思えます。

さて、唐突ですが、「ここ」はどこで育つのでしょうか。ここは学校の中だけで醸成されるものではありません。ここは正に地域や家庭の中で育つのです。本学のメッセージが単なるキャッチコピーで終わらないためにも、『地域を活かす』、地域で生きる清泉の姿を

これからも一所懸命に探求していきたいと考えています。

そして、『地域を活かし、地域で生きる清泉』が実現するためには、何よりも私たちと共に今を生きる地域の皆様のご協力とご支援が不可欠です。日々の忙しさが加速し、つつい周りの出来事まで気がまわらなくなっている毎日ですが、さまざまな形で表出している現代社会特有の生きにくさや、微細な地域課題にも気を配り、かゆい所に手が届くようなボランティア活動や公開講座等をこれからますます充実させていきたいと思えます。

### 出張！

### こども食堂 in 千曲市

4月14日、春らしい穏やかな天候の下、千曲市森のあんずの里へ出張し、こども食堂「丘の上レストラン清泉」を開催しました。

かつて多くの家庭で定番であった、夏の「海水浴」、秋の「りんご狩り」、冬の「スキー」、そして春の「お花見」といった家族みんなで楽しむ四季折々の行楽や伝統文化も、現在の多様な家庭環境のもと、多くのこどもたちにとって当たり前前の行事ではなくなっています。

あんずの里として名高い千曲市も例外ではなく、お花見の行楽客の減少を危惧する地元の声に応え、次世代を担う地元の子どもの「あんずの里の復活」を願い、こども食堂を開催することとしました。



特製お花見弁当



千曲市経済部産業振興課の呼びかけにより地元企業の皆様から信州千曲ブランド認定商品食材としてご提供いただき、特製お花見弁当を無料で提供することができました。20組68名の親子が満開の杏の花をめぐりながらお弁当を味わい、地域の魅力を再確認しました。

### 長野信用金庫と

### 包括連携協定を締結

5月21日、長野駅前東口キャンパスにおいて長野信用金庫との包括連携協定を締結しました。長野信用金庫と清泉女学院大学・清泉女学院短期大学は産業、文化、教育、学術等の分野における資源、研究成果等の交流、その他の連携及び協力を図ること

により、地域産業・観光の振興、教育研究の充実及び人材の育成を通して地域の発展に寄与することをめざします。

協定締結後の最初の活動として、6月21日、長野信用金庫が北信地域で創業者や創業をめざす人をサポートするプロジェクトに学生21名が参加し、「お客さま目線を知る」をテーマとして、ワークショップを行いました。



包括連携協定締結式



ワークショップ「長野しんさん創業カレッジ」